

『ユニオンファンド』

第4期 運用報告書 (決算日 2012年10月1日)

〔 2011年10月1日から
2012年10月1日まで 〕

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	原則として無期限
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、 「期待収益率が高い」と思われる資産に積極 投資をします。
主要運用対象	国内外の株式を投資対象とする投資信託証 券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を 設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合 には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資には制限を設けま せん。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配 を行います。分配金額は、委託会社が基準 価額水準、市況動向等を勘案し決定しま す。ただし、委託会社の判断により分配を行 わないことがあります。

受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております『ユニオン
ファンド』は、2012年10月1日に第4期の決
算を行いました。ここに期中の運用状況をご報
告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお
願い申し上げます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社
業務管理部/コンプライアンス室
TEL : 0263-38-0725

受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

〒390-0815
長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日) 2008年10月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 108
1期 (2009年 9月30日)	12,567	0	25.7	93.5	480
2期 (2010年 9月30日)	13,160	0	4.7	97.0	865
3期 (2011年 9月30日)	11,038	0	△16.1	97.1	972
4期 (2012年10月 1日)	12,529	0	13.5	89.4	1,391

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期末比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適確なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

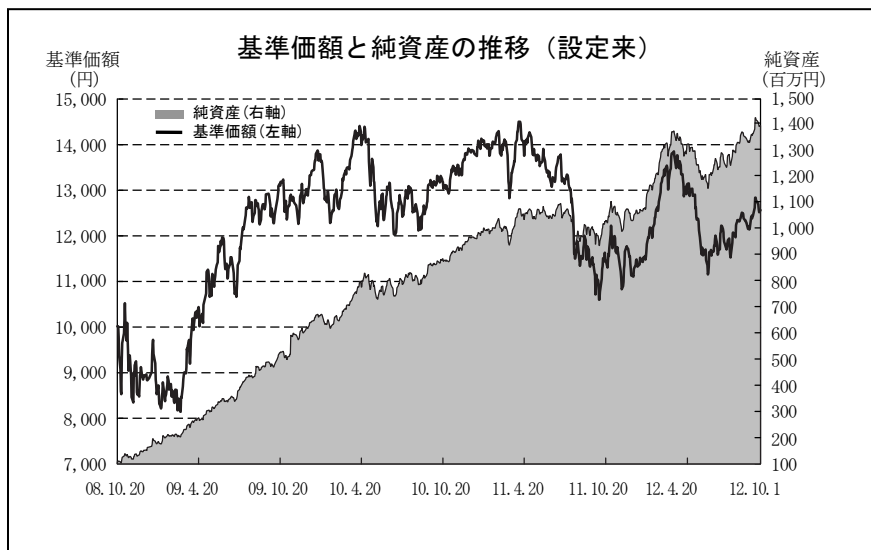
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰 落 率			
(期 首) 2011年 9月30日	円 11,038	% —	% 97.1	百万円 972
10月末	11,992	8.6	97.0	1,083
11月末	11,247	1.9	97.1	1,025
12月末	11,299	2.4	97.4	1,053
2012年 1月末	12,041	9.1	97.4	1,154
2月末	13,284	20.3	95.6	1,304
3月末	13,539	22.7	94.8	1,342
4月末	12,986	17.6	93.2	1,306
5月末	11,671	5.7	91.5	1,203
6月末	11,671	5.7	91.6	1,231
7月末	12,036	9.0	91.6	1,295
8月末	12,230	10.8	90.4	1,338
9月末	12,484	13.1	89.3	1,386
(期 末) 2012年10月 1日	12,529	13.5	89.4	1,391

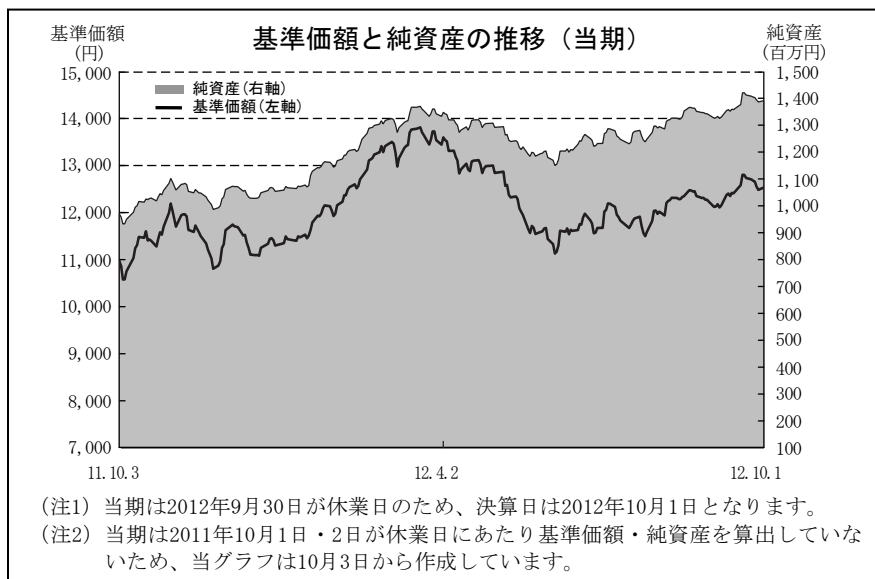
(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適確なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

■ 設定来の運用状況



■ 当期の運用状況



■ファンドの基本運用方針

当ファンドは個人家計の「資産形成」を支援する目的で、以下の方針により「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資します。

- ①「株式」に特化します。
 - ・長期投資では「株式」が債券を上回るパフォーマンスをあげており、今後も長期的には「株式」の収益率が債券収益率を凌駕するものと考えます。
- ②「グローバル」な視点で投資します。
 - ・「グローバル」に投資することで、世界の経済成長を享受することができると考えます。
- ③実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。
 - ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが少数ですが世界に点在します。
 - ・投資に当っては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。
- ④「バイ&ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。

■当期の運用環境

(1) 2011年10月～2012年3月：株価は概ね上昇

- ・南欧「債務問題」が大きな悪材料
 - ①ギリシャ債務問題が再燃し第2次支援が課題に（第1次支援：2010年5月、約11兆円）
 - ②銀行からの資金流出が増大し、南欧諸国の国債価格が暴落（金利急騰）
- ・しかし上記悪材料を、下記好材料がカバーし、株価は上昇基調に
 - ①米国経済指標が改善（自動車・住宅・スマートフォン、シェールガス革命などが牽引）
 - ②ECB（欧州中央銀行）が銀行に巨額の資金供給
 - ③EUの枠組みを再構築：「ESM（欧州安定メカニズム）」による支援枠確保（約70兆円）、「新財政協定」による財政統合への前進
 - ④ギリシャ第2次支援を決定（約13兆円＋民間保有国債の安値「借換」）

(2) 2012年4月～2012年5月：株価は下落

- ・好材料少なく、下記悪材料から株価は急落
 - ①ギリシャ総選挙での「連立与党過半数割れ」により「ユーロ離脱」懸念が増大
 - ②スペイン「財政目標未達」から「南欧債務問題」が再燃

(3) 2012年6月～2012年9月：株価は2極化

- ・米国・EUの株価は下記材料を好感し堅調に推移
 - ①ギリシャ再選挙で「緊縮派」が勝利、②EUがスペインの銀行に最大10兆円の支援を決定、③日米欧の中央銀行が巨額の非伝統的金融刺激策を発表、④米国経済指標の改善継続
- ・一方、日本・中国は景気低迷が続き、株価は軟調に推移

■当期の運用状況

当期は13.5%の運用実績となりました。

各市場の当期収益率は次の通りです。

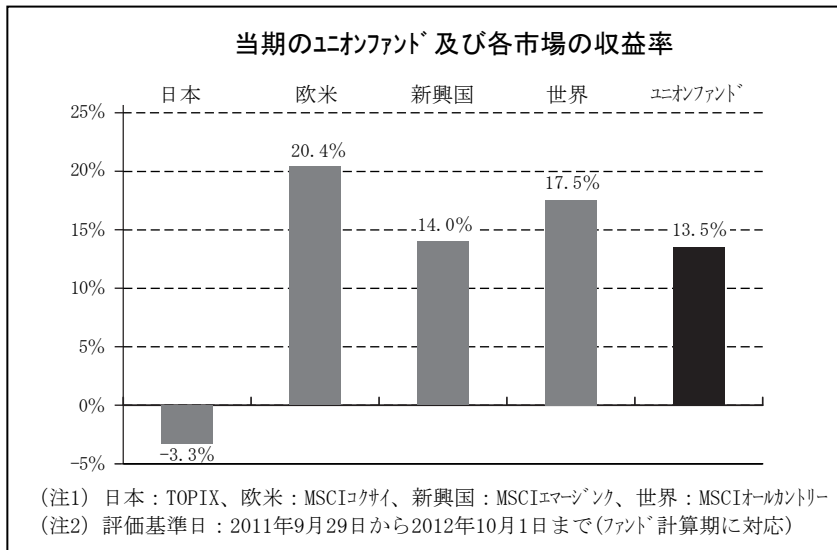
- 日本市場 (TOPIX) : ▲3.3%、
- 欧米市場 (MSCI コクサイ) : 円ベース 20.4%
- 新興国市場 (MSCI エマージング) : 円ベース 14.0%
- 世界市場 (MSCI オールカントリー) : 円ベース 17.5%

期末現在の地域別「組入比率」及び「時価総額比率」は次の通りです。

「組入比率」 : 日本 11%、欧米 33%、新興国 45%、キャッシュ 11%

「時価総額比率」: 日本 7%、欧米 60%、新興国 33%

ユニオンファンドは市場と比較して、①日本の組入比率が高いこと、②欧米の組入比率が低いこと、③新興国の組入比率が高いこと、が上記実績の要因といえます。

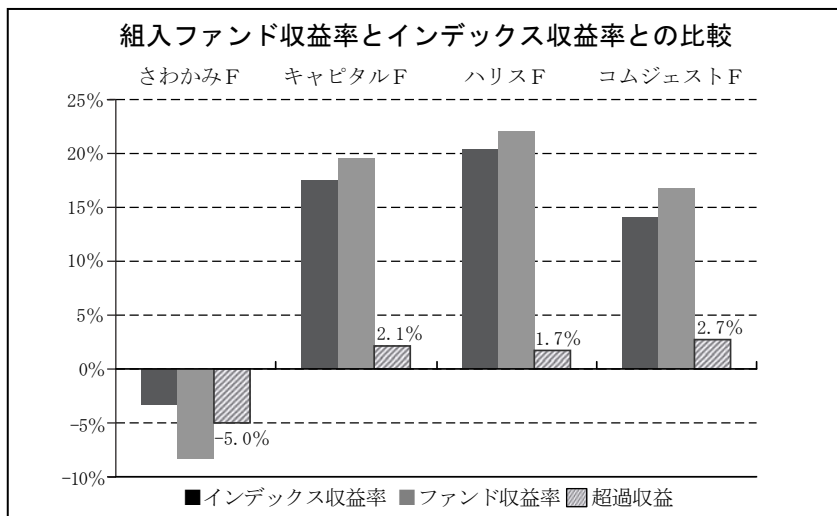


一方、組入ファンドとインデックスとの収益率比較では、3ファンドが凌駕し、1ファンドが劣後しました。

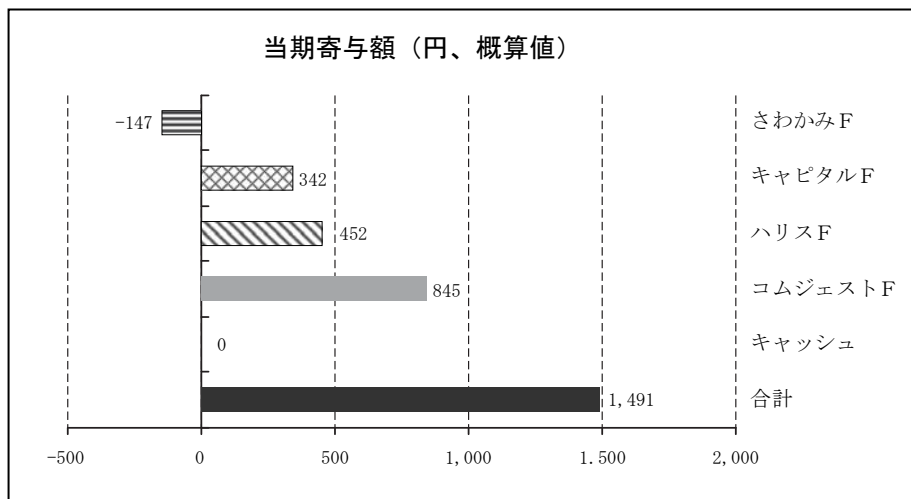
組入比率の高い3ファンドが凌駕したことがプラスに寄与しています。

期末現在のファンド別「組入比率」:

さわかみF 11.1%、キャピタルF 15.6%、ハリスF 17.8%、コムジェストF 44.8%



組入ファンド別の当期の基準価額寄与額は次のグラフの通りです。



組入比率については柔軟に対応しました。

- ・昨年 8 月以降の株価急落局面では収益・資産に比べ株価が割安過ぎると考え、「フル運用」水準（約 97%）まで組入比率を引き上げていました。
- ・期初から今年の 2 月までは「フル運用」を継続しました。
- ・3 月以降は、将来の収益に比べ株価が割高になっていると判断し、組入比率を抑制しました。
- ・今年 8 月以降の株価上昇局面では「南欧債務問題」「世界景気後退」への懸念などから組入比率の抑制を続け、決算日時点での組入比率は「89.4%」となっています。

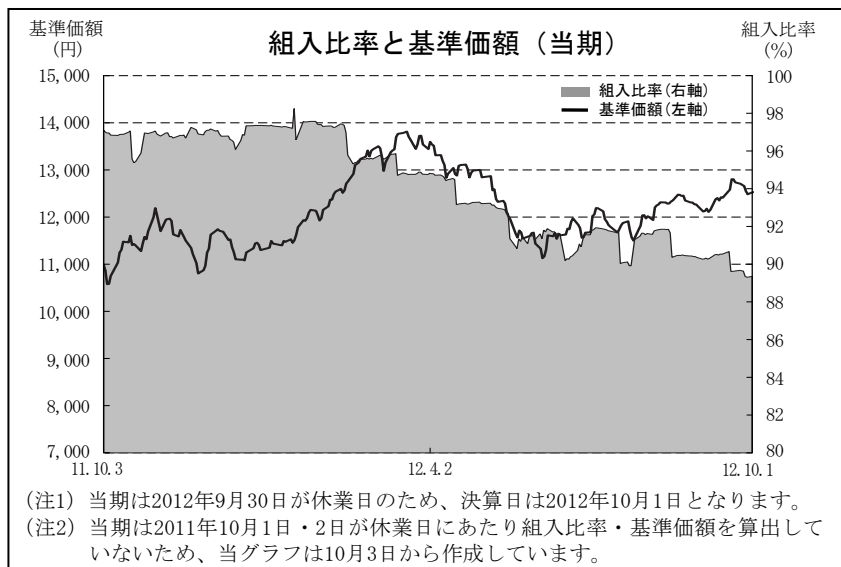


図1 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」

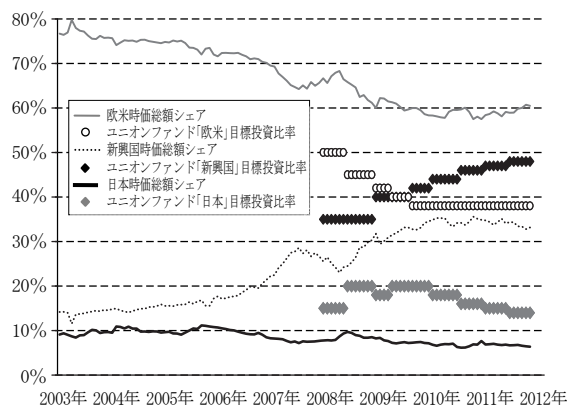


表1 組入ファンドと組入比率 (2012年10月1日現在)

組入ファンド	地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	11.1%	14%	-2.9%
キャピタルF	欧米	15.6%	18%	-2.4%
ハリスF	欧米	17.8%	20%	-2.2%
コムジェストF	新興国	44.8%	48%	-3.2%
キャッシュ	—	10.6%	—	—
合計		100%	100%	

図2 組入ファンドの基準価額推移 (2008.10.20=10,000)

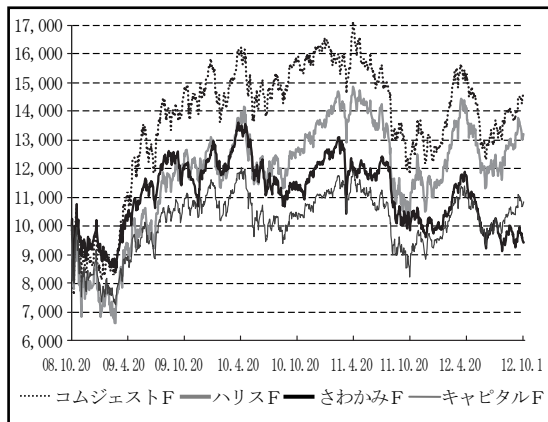


図3 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)

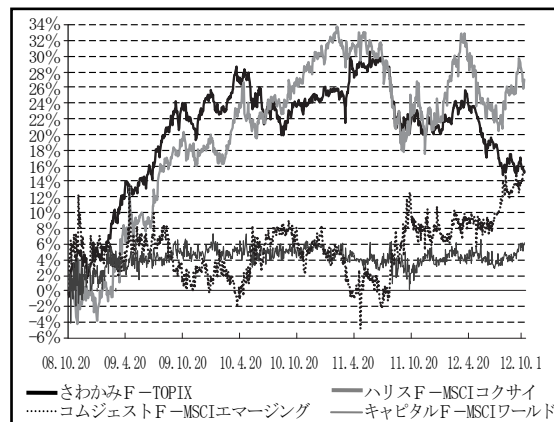


図4 組入ファンド別組入比率推移

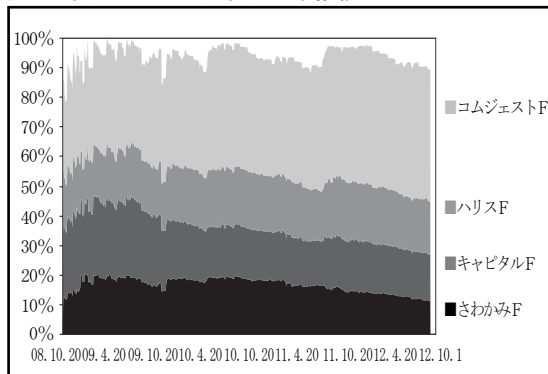


図5 ユニオンファンドの組入比率と基準価額推移

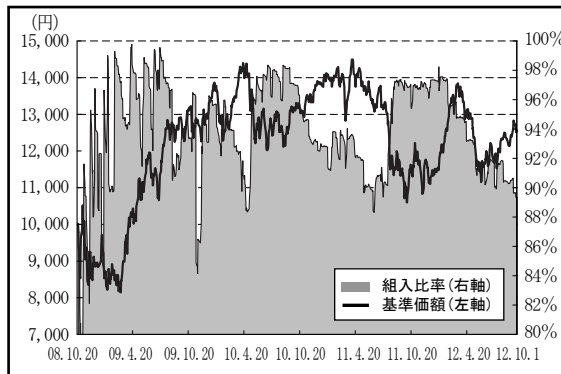
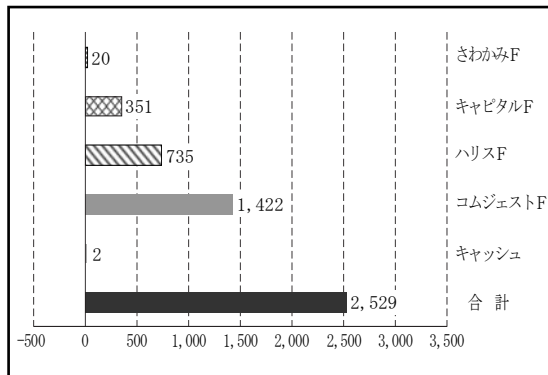


図6 組入ファンドの基準価額への累積寄与額(円)(概算値)



- ・キャピタルFは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスAの略称です。
- ・ハリスFは、ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド2007の略称です。
- ・コムジエストFは、ニッポンコムジエスト・エマージングマーケット・ファンドSAの略称です。

■今後の運用方針について

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ 4 ファンドに投資していきますが、他の組み入れ候補ファンドにも目配りを続けていきます。
- ③ 組入比率については、引き続き柔軟に対応していきます。

■分配金について

当ファンドの基準価額は決算日現在で 12,529 円（1 万口当り）でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、第 4 期は無分配とさせていただきます。

(分配原資の内訳) (単位:円、1万口当たり・税引前)

	当期
当期分配金	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—

(注)金額は各項目ごとに円未満切捨てで表記しておりますので、表中の個々の数値の合計が合計欄と一致しないことがあります。

翌期繰越分配対象額	2,830
-----------	-------

(注)金額は円未満切捨てで表記しております。

■直接販売状況

今期末のお客様総数は1,317名（前期末比+23.5%）になりました。また、将来に備え、現役時代からコツコツ積み立てることを目的とした「定期定額購入サービス」ご利用のお客様は全体の73.8%にあたる972名（前期末比+26.5%）になりました。

今期の特徴は、高齢層のご利用率が高まったことです。

◇ 新規口座開設（前期末比）

60歳代 +38.5%

50歳代 +36.9%

40歳代 +25.5%

◇ 定期定額購入サービス（前期末比）

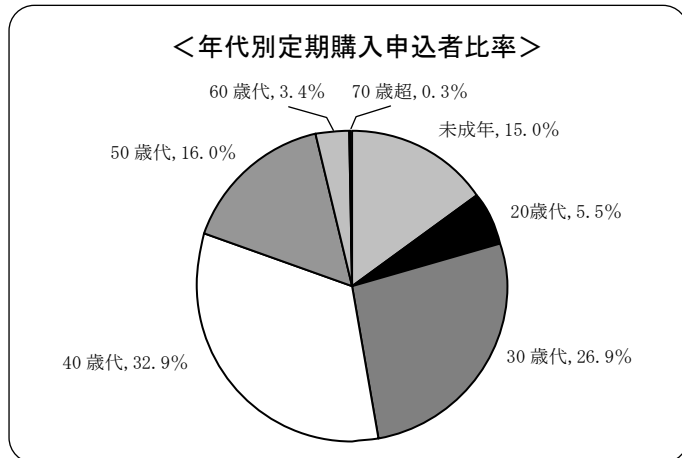
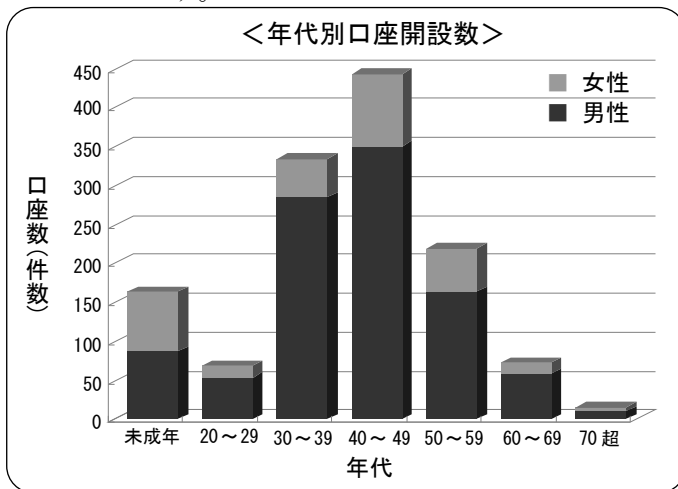
50歳代 +47.2%

40歳代 +30.6%

60歳代 +26.9%

雇用や年金、医療、介護などの社会保障等の不安・問題が山積する現在、個人の老後生活を支える上で国や企業に頼ることが大変難しくなってきました。“自分の生活は自分で守る”という意識が高齢層のなかでも高まってきていると思われま

す。一方、全体では住宅ローンや教育費等で“家計の出費がかさむ”と言われる30歳代、40歳代の比率が約6割を占めています。



なお、「定期定額購入」における毎月の引落とし金額は「一人当たり平均20,212円」となっています。

注目されるのは“30歳代、19,732円”、“20歳代、14,585円”、“未成年者、9,144円”という金額です。若い年代層における毎月の引落とし金額は決して少額ではありません。しっかりと将来を見据え、計画的にコツコツ積み立てる投資を実践されている“自助努力”の姿がこの金額に表れていると思います。

当社は非営利団体である労働組合が出資して設立されました。その大きな目的は、お客様のコスト負担を少しでも軽減して資産形成のお手伝いをさせていただくことです。そのため、集客を目的とした“広告・宣伝”や“販売会社”は一切利用致しておりません。「資産形成」を図るために必要な“時間を味方に付けた資産運用”には、販売会社主導による出入りの激しい資金はファンドの運用に支障をきたすため不要と考えています。当社はこれからも“直接販売”を通じてお客様と共に“働く仲間と家族の資産づくり”に邁進して参ります。

■ 1万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細（自 2011 年 10 月 1 日 至 2012 年 10 月 1 日）

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	102円 (64) (34) (4)
(b) 保 管 費 用 等	0
合 計	102

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券・投資証券（自 2011 年 10 月 1 日 至 2012 年 10 月 1 日）

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラス A	10,048	12,500,000	0	0
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA	143,049,173	111,000,000	0	0
ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	13,415,130	8,500,000	0	0
さわかみファンド	11,994,319	12,000,000	0	0

(注) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等（自 2011 年 10 月 1 日 至 2012 年 10 月 1 日）

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期は自社設定分を一部処分いたしました。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（自 2011 年 10 月 1 日 至 2012 年 10 月 1 日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 元 本	取引の理由
千円 68,000	千円 -	千円 16,000	千円 52,000	自社財産の運用を目的とした一部処分

■ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

投資資産 の 種 類	銘 柄	当 期 末 (2012 年 10 月 1 日)		
		口 数	評 価 額 (円)	組入比率 (%)
投資証券	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA	158,605	217,289,850	15.6
投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA	711,485,808	623,261,567	44.8
	ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	350,017,838	247,567,616	17.8
	さわかみファンド	158,565,897	154,855,455	11.1
合計		1,220,228,148	1,242,974,488	89.4
銘柄数				4銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2012 年 10 月 1 日)	
	評 価 額 (円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	1,025,684,638	73.4
投 資 証 券	217,289,850	15.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 、 そ の 他	153,503,151	11.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,396,477,639	100.00

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2012年10月1日現在)
(A) 資 産	1,396,477,639円
コール・ローン等	153,503,151
投資信託・投資証券(評価額)	1,242,974,488
(B) 負 債	5,450,060
未払解約金	79,999
未払信託報酬等	5,370,061
(C) 純資産総額(A-B)	1,391,027,579
元 本	1,110,228,035
次期繰越損益金	280,799,544
(D) 受 益 権 総 口 数	1,110,228,035口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,529円

■損益の状況

項 目	当 期 自2011年10月1日 至2012年10月1日
(A) 配 当 等 収 益	38,046円
受 取 利 息	38,046
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	149,427,264
売 買 益	149,427,264
(C) 信 託 報 酬 等	△10,156,959
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	139,308,351
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△66,993,095
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	208,484,288
(配 当 等 相 当 額)	(206,176,193)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,308,095)
(G) 計 (D+E+F)	280,799,544
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	280,799,544
追 加 信 託 差 損 益 金	208,484,288
(配 当 等 相 当 額)	(206,176,193)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,308,095)
分 配 準 備 積 立 金	105,755,666
繰 越 損 益 金	△33,440,410

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

■お知らせ＜当期中の約款変更＞

2011年12月25日、運用の基本方針と約款第18条の同一銘柄の投資信託証券への投資制限を撤廃する重大な約款変更を行いました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2013年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税7%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、10.147%（所得税及び復興特別所得税7.14%、並びに住民税3%（法人受益者は7.14%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

(参考資料)

■指定投資信託証券の運用内容

1 《キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》

(半期決算日：2012年6月30日) 計算期間：2012年1月1日～6月30日

※当運用報告書作成日現在、公表されている決算報告書は2012年6月末の半期決算報告書であり、その報告書からの抜粋となります。

◇国別構成比率

As at 30 June 2012	%
United States	50.4
United Kingdom	9.1
Japan	6.1
France	5.9
Switzerland	4.3
Canada	3.0
Germany	2.8
Hong Kong	2.4
Other	11.0
Cash and Equivalent	5.1
Total	100.0

◇資産、負債、元本及び純資産の状況

As at 30 June 2012	
Assets	
Investments at market value	€514,534,934
Cash at bank	—
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	840,637
Receivable for fund shares subscribed	64
Receivable for investments sold	14,610,872
Prepaid expenses and other receivables	629,445
Unrealised gain on hedged share class forward foreign exchange contracts	4,108
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	—
Total assets	530,620,060
Liabilities	
Payable for fund shares redeemed	13,682,512
Payable for investments purchased	1,165,460
Accrued expenses and other payables	344,801
Bank overdraft	913,897
Unrealised loss on forward foreign exchange contracts	123,624
Management fee payable	89,701
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	—
Total liabilities	16,319,995
Total net assets	€514,300,065
Investment securities at cost	€463,331,789

◇損益の状況

For the six months ended 30 June 2012

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	€7,872,589
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	—
Interest on bank accounts and time deposits	17,540
	7,890,129
Expenses	
Management fees	592,566
Administrative Manager services	269,099
Professional services	151,585
Taxe d'abonnement	43,161
Custody	44,159
Other	44,683
Printing and publishing	34,066
	1,179,319
Reimbursement of expenses	119,536
Net investment income/(loss) (a)	6,830,346
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	25,029,257
Foreign currency transactions	1,186,032
Net realised profit/(loss) for the period (b)	26,215,289
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investment	2,362,508
Foreign currency transactions	(523,896)
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) for the period (c)	1,838,612
Result of operations for the period (a+b+c)	34,884,247
Dividend distribution	(39,714)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the period	(101,368,824)
Total net assets at the beginning of the period	580,824,356
Total net assets at the end of the period	€514,300,065

2 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》
第4期（決算日：2011年12月26日）計算期間：2010年12月28日～2011年12月26日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	94円 (57) (28) (9)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	19 (19)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	6 (6)
(d) 保管費用等	45
合 計	164

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2011年12月26日現在）

項 目	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド	千口 2,590,606	千口 3,085,325	千円 2,485,846

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2010 年 12 月 28 日 至 2011 年 12 月 26 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	2,744円
受 取 利 息	2,744
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△572,931,249
売 買 益	8,422,647
売 買 損	△581,353,896
(C) 信 託 報 酬 等	△ 27,548,650
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△600,477,155
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	260,801,651
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△370,988,283
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 236,896,131）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△607,884,414）
(G) 計 (D+E+F)	△710,663,787
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△710,663,787
追 加 信 託 差 損 益 金	△370,988,283
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 237,735,324）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△608,723,607）
分 配 準 備 積 立 金	283,187,255
繰 越 損 益 金	△622,862,759

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,385,604円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(237,735,324円)および分配準備積立金(260,801,651円)より分配対象収益は520,922,579円(10,000口当たり1,629円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況（2011年12月26日現在）
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	M S C I 業 種 分 類	国 名	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	情報技術	台湾	5.7%
2	JBS SA	生活必需品	ブラジル	4.7%
3	CHINA LIFE INSURANCE	金融	中国	4.0%
4	GOLD FIELDS LTD	素材	南アフリカ	4.0%
5	TENCENT HOLDINGS	情報技術	中国	3.3%
6	NASPERS LTD-N SHS	一般消費財・サービス	南アフリカ	3.2%
7	HEINEKEN NV	生活必需品	オランダ	3.1%
8	SABMILLER PLC	生活必需品	南アフリカ	3.1%
9	CCR SA	資本財・サービス	ブラジル	3.0%
10	RANDGOLD RES LTD	素材	マリ	3.0%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

業種別構成比率

MSC I 業種分類	構成比率
生活必需品	24.2%
情報技術	19.5%
資本財・サービス	11.3%
素材	10.8%
電気通信サービス	8.6%
一般消費財・サービス	8.4%
金融	6.7%
エネルギー	4.3%
公益事業	1.4%
	95.2%

国別構成比率

国名	構成比率
ブラジル	16.5%
南アフリカ	14.2%
台湾	9.8%
中国	9.4%
ロシア	7.0%
インド	5.3%
韓国	4.9%
メキシコ	4.3%
ウクライナ	4.0%
オランダ	3.1%
マリ	3.0%
マレーシア	3.0%
アメリカ	3.0%
アルゼンチン	2.2%
トルコ	1.9%
オーストラリア	1.9%
チリ	1.6%
	95.2%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

3 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

第5期（決算日：2012年3月9日） 計算期間：2011年3月10日～2012年3月9日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2011年3月10日～2012年3月9日）

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	94円 (72) (16) (6)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	6 (6)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	1 (1)
(d) 保管費用等	4
合 計	105

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入) なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2012年3月9日現在）

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	千口 13, 126, 217	千口 13, 096, 702	千円 10, 199, 712

(注) 単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2011 年 3 月 10 日 至 2012 年 3 月 9 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	49,908円
受 取 利 息	49,908
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 320,503,662
売 買 益	1,576,567
売 買 損	△ 322,080,229
(C) 信 託 報 酬 等	△ 125,442,212
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 445,895,966
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 10,132,231
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,195,592,817
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 354,828,954）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△3,550,421,771）
(G) 計 (D + E + F)	△3,651,621,014
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△3,651,621,014
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,195,592,817
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 381,531,466）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△3,577,124,283）
分 配 準 備 積 立 金	111,717,115
繰 越 損 益 金	△ 567,745,312

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,468,255円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(381,531,466円)および分配準備積立金(77,248,860円)より分配対象収益は493,248,581円(1万口当たり355円)でありましたが、当期は分配を行いませんでした。

■ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド 組入状況 (2012年3月9日現在)

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	INTEL CORP	6.3%
2	CREDIT SUISSE	3.9%
3	ADECCO SA-REG	3.8%
4	DAIMLER AG-REG	3.7%
5	STARWOOD HOTELS & RESORTS	3.6%
6	AKZO NOBEL	3.6%
7	ALLIANZ SE	3.5%
8	PUBLICIS GROUPE	3.4%
9	WELLS FARGO & CO	3.3%
10	JULIUS BAER GROUP	3.2%

組入上位10業種

順位	業 種 名	組入比率
1	各種金融	12.5%
2	半導体・半導体製造装置	9.5%
3	素材	8.6%
4	ソフトウェア・サービス	8.2%
5	銀行	7.2%
6	メディア	7.1%
7	食品・飲料・タバコ	6.5%
8	消費者サービス	6.3%
9	自動車・自動車部品	5.2%
10	商業・専門サービス	5.2%

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率、業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく24産業グループです。

4 《さわかみファンド》

第13期（決算日2012年8月23日）計算期間：2011年8月24日～2012年8月23日

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	111円 (61) (39) (11)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	1 (1)
合 計	112

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 組入資産の明細

株式組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	4.56
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	3.69
3	7011	三菱重工業	機械	3.00
4	4452	花王	化学	2.88
5	1605	国際石油開発帝石	鉱業	2.33
6	4063	信越化学工業	化学	2.14
7	6902	デンソー	輸送用機器	2.14
8	6752	パナソニック	電気機器	1.82
9	7267	ホンダ	輸送用機器	1.64
10	9104	商船三井	海運業	1.64

(注) 比率は8月23日現在における純資産総額比です。

■損益の状況（自 2011 年 8 月 24 日 至 2012 年 8 月 23 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,483,264,124円
受 取 配 当 金	4,472,854,121
受 取 利 息	899,803
そ の 他 収 益 金	9,510,200
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 8,522,832,112
売 買 益	15,533,965,099
売 買 損	△ 24,056,797,211
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,230,456,309
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 6,270,024,297
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 62,813,252,743
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	73,181,763,920
(配 当 等 相 当 額)	(122,559,034,553)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 49,377,270,633)
(G) 合 計 (D + E + F)	4,098,486,880
(H) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	4,098,486,880
追 加 信 託 差 損 益 金	73,181,763,920
(配 当 等 相 当 額)	(122,559,034,553)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 49,377,270,633)
分 配 準 備 積 立 金	47,567,430,919
繰 越 損 益 金	△116,650,707,959

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。